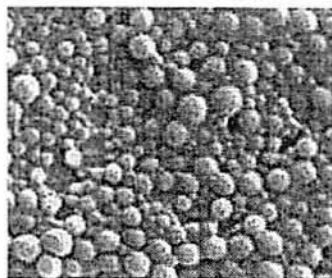


皮膚のつつ張り感抑制

大成ファインケミ 成
ファインケミ エマルジョン開発

大成ファインケミカル
(千葉県旭市、徳倉眞治
社長、0479・64・
2077)は、皮膚への
密着性と通気性を高めな
がらつつ張り感を抑えら
れるシリコン・アクリ
ルのエマルジョン(写真)
を開発した。皮膚に塗布



する従来の化合物は密着
性を高めるとつつ張り感
が出るケースが多い。皮
膚保護剤や化粧品向けな
どに06年1月15日からサ
ンプル出荷を始める。
開発したのはシリコー
ン系の溶剤中にアクリル
を核としたシリコーンが
球状に覆ったコロイド
を形成させたエマルジ
ョン。皮膚に塗布する
とそれぞれのコロイド
が点接着し、均一に整
列する。

コロイドは0.1-
0.5μmと小さいこ
とから皮膚表面の凹凸

にも追従しながら密着
し、つつ張り感が出な
い。皮膚に対しても点接
着するため通気性を確保
できる。

東京都葛飾区の研究所
のマルチプラントでサン
プルを生産し、100μm当た
り1000-5000円
で販売する。同社は保湿
成分や紫外線吸収剤とい
った他の化合物をコロイ
ド外部につけたり、コロ
イド内部に包含させる技
術も持っており、受託生
産も行う。同社は大成化
工(東京都葛飾区)から
昨年春に分社した。